



モンゴル国

障害児のための教育改善プロジェクトフェーズ2

2020年9月より、「障害児のための教育改善プロジェクトフェーズ2」を開始しました。2015年から2019年まで実施したフェーズ1では、パイロット地域・パイロット校において障害や発達に遅れのある子どもへの早期からの発達支援の実施や、インクルーシブ教育推進のための教育サービスの向上を目指した活動を実施しました。

フェーズ2では、前フェーズで実施した活動の全国普及を目指します。さらに、幼稚園でも障害のある子どもたちが他の子どもたちと一緒に学べるようなモデルを構築し、全国普及に取り組みます。

— プロジェクトの実施体制 —

教育省特別支援教育課
労働・社会保障省
プロジェクトチーム
コアグループ*

区・県の教育課・局の
IE担当官**
区・県の支部委員会の
教育担当者***

全国の幼稚園
全国の学校



- ◇ 研修の実施
- ◇ 情報共有体制の構築
- ◇ 各種ハンドブックの作成

- ◇ 幼稚園・学校向け研修の実施
- ◇ 幼稚園・学校モニタリングの実施
- ◇ 障害児の就園・就学に関する支援

- ◇ インクルーシブな幼稚園・学校づくり
- ◇ インクルーシブなクラス運営

*モンゴルのインクルーシブ教育関連の専門家(大学教員、教育研究所専門家、前フェーズのパイロット校教員等)で結成されたチーム。

**IE担当官:区教育課/県教育局に配置されているインクルーシブ教育の担当者。

***支部委員会:障害の早期発見とその後の発達支援を目的として、9区21県に設置された非常設委員会。

 モンゴル国 ウランバートル市 スフバートル区 第1ホロー Avzaga trade building 505号室

 <https://www.facebook.com/JICA.START.2>

 <https://www.jica.go.jp/project/mongolia/029/index.html>

 jicastart2@gmail.com

 +976-80486690
+976-95937356



－ プロジェクトで取り組む活動 －

障害のある子どもの支援に地域で 取り組む

多職種の委員で構成される各区・県の支部委員会が、障害のある子どもへの支援を検討するケース会議、入園・入学のための就学支援会議を実施できるように、支援します。



教育行政官の能力強化

各区・県のインクルーシブ教育を担当する教育行政官が、担当する幼稚園・学校においてインクルーシブ教育を推進する活動が実施できるように支援します。



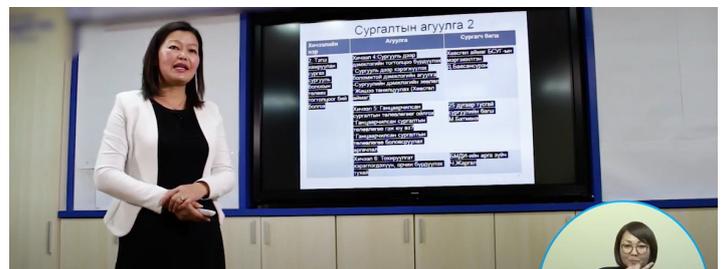
幼稚園・学校での実践

全国の幼稚園・学校で、障害のある子どもも他の子どもとともに学ぶことができるように、校内委員会の開催、個別教育計画の作成、みんなが参加できる授業づくりなどを推進します。



幼稚園・学校教員の能力強化

全国の幼稚園・学校の教員たちが、インクルーシブ教育について学び、実践できるように、オンライン研修プログラムの開発や実践共有の促進に取り組みます。



日本人専門家

鈴木サヤカ 業務主任者・インクルーシブ教育政策
石井徹弥 副業務主任者・インクルーシブ教育政策
磯部陽子・西村久美子・橋本創一・吉野直子
インクルーシブ教育(就学前)
上原翔子 インクルーシブ教育(初中等)・教員研修/ICT
田島健二 教員研修/ICT
中本真琴 モニタリング・普及活動

プロジェクトスタッフ

Kh. Ganbaatar
G. Norjmaa
D. Ariun
D. Odgerel
Ts. Munkhtuya
Ts. Enkhgerel